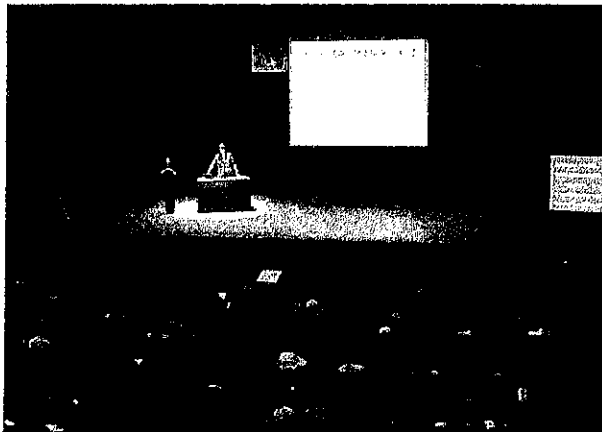


憲法施行65周年

輝け九条！ 憲法を暮らしに生かそう

憲法記念日の5月3日、名古屋では愛知憲法会議による恒例の「市民の集い」が、市公会堂で開かれ2,600人が参加しました。

伊藤塾塾長で弁護士の伊藤真氏が講演。憲法そもそも論から説き起こし、大震災被災地救援と憲法との関連、さらに改憲論の問題点まで、幅広いテーマについて熱弁を振るいました。そのあと、ウクライナの歌手ナターシャ・グジーさんが、民族楽器を自ら奏でながらウクライナや日本の歌を独唱。透明感のある美しい歌声に、大きな拍手が沸きました。



プロジェクターを使いながら講演する伊藤氏

4月の署名行動

【カッコは前月】

	行動回数	署名数	累計数
高蔵寺駅頭	12 (14)	20 (23)	7,777
スーパー前	3 (2)	2 (6)	2,346
その他	1 (1)	8 (5)	1,562
合計	16 (17)	30 (34)	11,685

4月の署名数は前月より1割減の30人と、振るいませんでした。高蔵寺駅頭では1回当たりの署名数は1～3人と少ないものの「署名数ゼロ」の回数が1回にとどまりました(前月は5回)。スーパー前で署名数は、これまでの最低記録でした。永田町では改憲勢力の動きが活発なのに、市民の反応が鈍いのはなぜでしょうか。「その他」は憲法連絡会によるJR春日井駅頭9の日行動で、署

名数は革新懇集約分です。

カンパは、3人から800円が寄せられました。

全国でも貴重な 粘り強い取組み

全国革新懇ニュース 編集長 阿部悦子

春日井革新懇の「憲法改悪反対署名推進ニュース」100号発行に、心から敬意を表します。

皆さんは2003年11月から憲法改悪反対署名を高蔵寺駅頭などで行っていて、その回数は2,093回、寄せられた署名は、累計1万1,685筆に及んでいます。全国でも貴重なねばり強いとりくみです。

推進ニュースには、憲法をじゅうりんするさまざまな国政課題が掲載されています。67年前に空襲などの戦争体験をした皆さんの反戦・平和の思いが強く伝わります。

署名行動を目にして憲法について考えるようになった女性や学生、「9条ってなに？」と質問した若者が署名するなど、憲法を守り平和を願う世論を草の根に広げてきました。

また、暑い日には冷たいお茶、寒い日には使い捨てカイロが差し入れられるなど、心温まるドラマが数多く生まれています。

最近、自民党は戦力不保持をうたう9条2項を破棄して「国防軍」の保持や、軍法会議の設置を盛り込んだ新憲法草案を発表しました。また、民主・自民・公明・みんなの党・国民新党などの改憲派議員は5月1日、「新憲法制定推進大会」を国会内で開きました。

「戦争ができる国づくり」を狙う動きを跳ね返すときです。皆さんとともに、憲法を生かし、命や暮らしが守られる新しい日本への国民的共同をさらに大きく広げたいと思います。

【編集者から】この「ニュース」は2004年1月創刊、毎月1回の発行で、今回100号を迎えました。